

伏古本町・札幌地区における学校規模適正化の取組
説明会 開催結果概要

【会場：東苗穂小学校】

開催日：令和6年12月2日（月）18時30分～19時30分

参加者：地域住民・保護者7名

【会場：伏古小学校】

開催日：令和6年12月3日（火）18時30分～19時30分

参加者：地域住民・保護者4名

【説明内容】

伏古本町・札幌地区学校配置検討委員会における協議内容・協議結果について

【参加者からの質問・意見概要】

質 疑	回 答
東苗穂小学校が閉校となることにより、地域から避難所機能が無くなることに不安がある。	現在、東苗穂小は「基幹避難所」に指定されていますが、札幌市では、歩行距離2km圏内に他の基幹避難所がある場合は新たに指定を行わないこととしています。 この地域には、伏古小や札幌小、札幌中など2km圏内に基幹避難所が存在するため、東苗穂小の閉校後に新たな基幹避難所の指定は行わない予定です。 過去の事例では、学校の跡活用に際して、基幹避難所を補完する「地域避難所」に指定している施設も存在しますが、東苗穂小の跡施設を地域避難所に指定するかどうかは、現時点では未定です。 跡活用に見通しがついた段階で、検討していきたいと考えております。
東苗穂小の校区内には、北24条・栄町通への抜け道とし	通学安全に関しては、学校配置検討委員会の中でも多くの意見が出されており、その重

<p>て使われている道路があり、車の速度も出ている。統合後も通学安全を確保してほしい。</p>	<p>要性は認識しております。</p> <p>今後、新設校の開校が近づいた段階で、現在も各校を中心に組織されているスクールゾーン実行委員会を合同で開催するなどして、再編後の新たな通学区域上の危険な箇所について、通学安全対策の協議・検討を進めていく想定です。</p>
<p>東苗穂小の跡活用を検討する際には、隣接している東苗穂公園と一体で新たな公共利用を見出せないか。</p>	<p>東苗穂小閉校後の跡活用については、再編校の開校時期が見通せた段階で、札幌市役所内部に活用意向がないか調査を行います。</p> <p>活用意向がある部署があれば、公共利用が検討されますが、校舎自体が大きい施設であることもあり、現状では具体的な活用方法が見つかっておりません。</p> <p>公共利用を検討する際に、隣接する東苗穂公園と一体での活用を検討する可能性もゼロではありませんが、市として各地域の公共施設は充足しており、新しい公共施設は整備しないというのが基本的な方針となります。</p> <p>したがって、市役所内部に活用意向がなかった場合には、民間事業者への売却を検討することとなります。</p> <p>一方で、学校が、地域の皆様にとって大切な場所であることは承知しております。</p> <p>今後、地域として、どのような跡活用の求めがあるか、ご意見を聞きながら、検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>開校までに何をいつ頃から検討するなど、スケジュールが分からないといきなりは動き出せない。現時点で決まっていることはないのか。</p>	<p>来年度以降に着手する新校舎の設計がある程度進んだ段階で再編校の開校時期が明らかになる予定であり、現時点で具体的にはお伝え出来ない状況にあります。</p> <p>今後、開校までのスケジュールが明らかに</p>

	<p>なり次第、改めて、保護者を含む地域の皆様に情報提供してまいります。</p>
<p>「伏古小学校」という名称であることで、地域住民はおおよそどこにあるか想像がつく。伏古地域にある学校なので、校名は「伏古小」のままで良い。統合により校名を変更してしまうと、どこにあるのかイメージが付かず、災害時の避難に支障をきたしてしまうのではないか。</p>	<p>学校配置検討委員会の意見書では、両校の特色ある教育内容やその歴史等に配慮しつつ、校名も含めて未来志向の「新しい学校づくり」を進めるために、再編後の学校名については、現在の両校の学校名をそのまま用いることは慎重に考慮すべきとされております。</p> <p>今後、校名については、決定の方法を含めて別途検討してまいります。</p>
<p>子どもの教育レベルを落とさないよう、学校規模適正化の取組は迅速に進めるべき。校名の検討などに時間をかけず、伏古小にある空き教室を活用してすぐに統合した方が良い。</p>	<p>今回の伏古本町・札苗地区における取組は、両校の小規模化による課題の解消を図ることと合わせ、老朽化が進んでいる伏古小の校舎を建て替えることで、子どもたちの教育環境を整えることを目的としています。</p> <p>早期に学校規模適正化を実現すべきというご意見は大変重要なものですが、施設の老朽化、再編時に必要となる教室数の見込みなどから、今回は既存校舎を活用した再編ではなく、校舎建て替えを伴った取組を案として提示させていただいたものであることをご理解いただきたいと思います。</p>
<p>現在の伏古児童会館敷地内には、記念碑やレリーフ、黒御影石で作られた看板など地域にとって貴重なものがある。</p> <p>児童会館を廃止するなら、隣接するモーモー公園に移設し、今後も残してほしい。</p>	<p>伏古児童会館の敷地内に設置されている記念碑等につきましては、今後、再編校の具体的な閉校時期、児童会館の閉館時期が見通せた段階で、設置物の状況調査実施の検討を行うなど、今後の取り扱いについて継続して検討してまいりたいと考えております。</p>

意見

今後、学校の再編が増えていくと、学校まで遠くなる児童が多くなる懸念がある。

本日の参加者の少なさに驚いた。今後のためにも周知の仕方を再検討してほしい。

東苗穂小が今後に残ると良かったが、1学年1学級で6年間クラス替えできないと大変な部分もあると思う。

開校時期が見通せないことは、現在の建設業界の事情を考えると理解できる。

【東苗穂小学校長閉会の挨拶】

来年度、東苗穂小学校は、開校40周年を迎える節目の年となる。

本日、学校再編に向けた説明会があったが、今後も東苗穂小学校の教育は続いていく。地域の皆様が築き上げた伝統を大切にしながら、これからも子どもたちが楽しく笑顔で学ぶことができるように教育活動に邁進してまいりたい。

【伏古小学校長閉会の挨拶】

学校配置検討委員会に参加し多くの方々の意見を聞く中で、両校の様々な思いをどう織り交ぜて、新しい歩みを進めていくかということがとても重要であることを実感した。再編校は現在の伏古小学校の敷地に設置されるが、新校舎の工事期間に本校の教育活動を可能な限り守りつつ、どういった計画のもとで進めていくべきかを市教委をはじめ、札幌市の皆様と進めていくことが自分の責務であると感じているところ。

住民や保護者の皆様からご意見をいただきながら進めてまいりたいと考えているため、今後ともよろしく願いたい。